



日本テクノ・ラボ（株）
(札幌アンビシャス：3849)

**2024年3月期 第2四半期
決算補足説明資料**



October 31, 2023

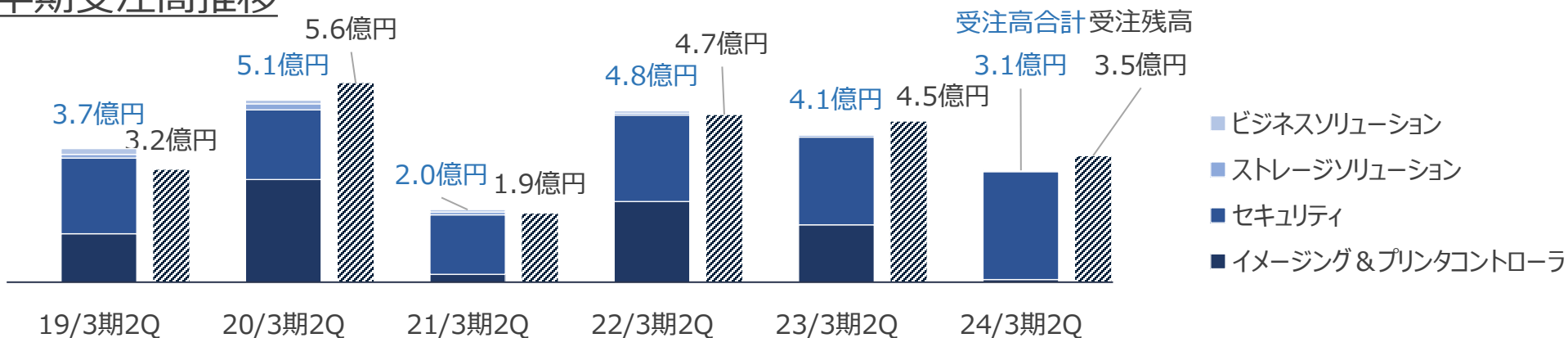
<https://www.ntl.co.jp/>

2024年3月期 2Q総括

通期計画に向け順調なスタート

- ▶ 前期から期ズレとなった案件の納品が1Qに完了、売上高は前年同期比+19.6%、売上総利益は+46.7%と大幅増収増益。
- ▶ SPSE（セキュリティ：情報）、FIRE DIPPER for OSCE（セキュリティ：映像）が好調。
- ▶ セキュリティを中心に受注高 3.1億円、受注残高 3.5億円

第2四半期受注高推移



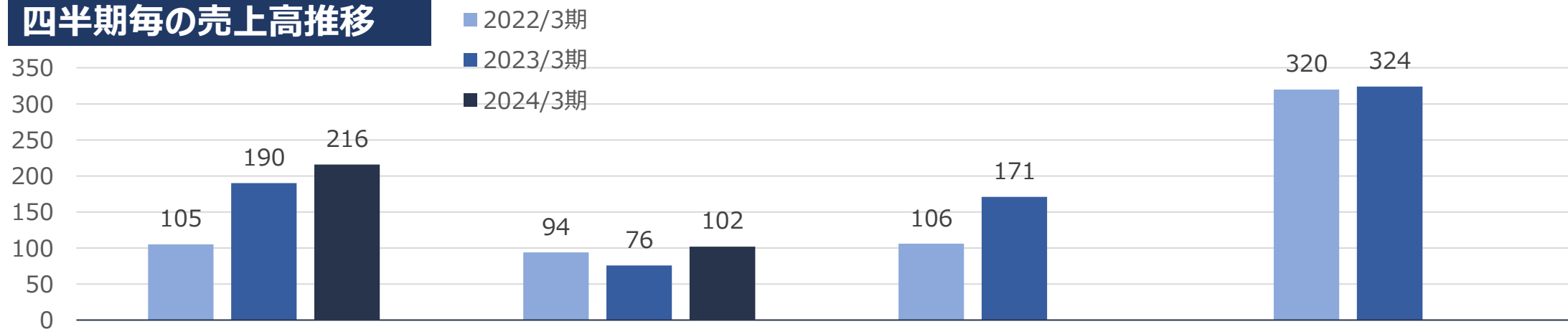
損益計算書サマリー



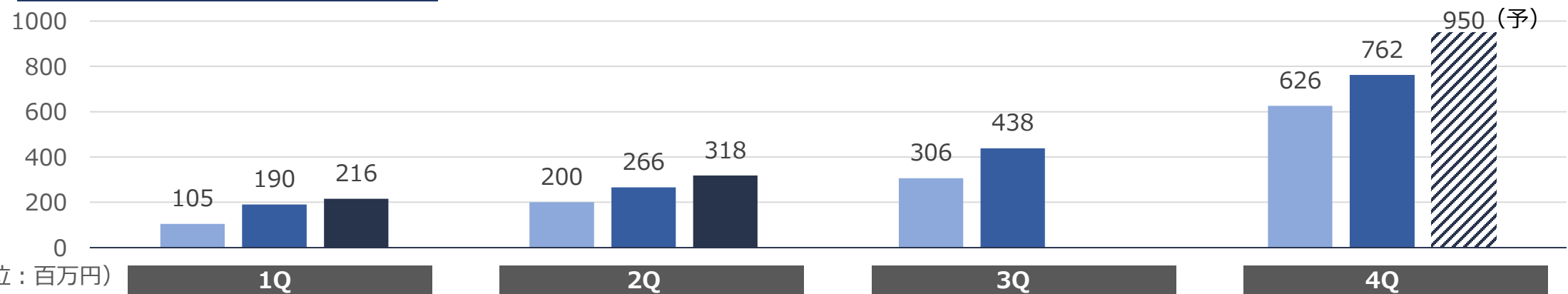
単位：百万円	2024/3期 2Q実績	2023/3期 2Q実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	318	266	+52	+19.6%
売上総利益	183	125	+58	+46.7%
営業利益	13	△34	+47	-
経常利益	14	△33	+47	-
四半期純利益	9	△24	+33	-

四半期業績推移 (売上高：過去3期比較)

四半期毎の売上高推移



累計売上高推移

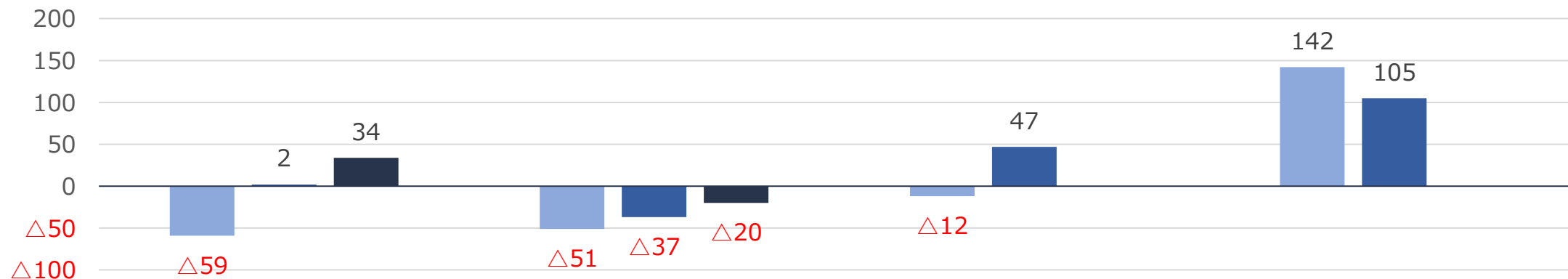


(単位：百万円)

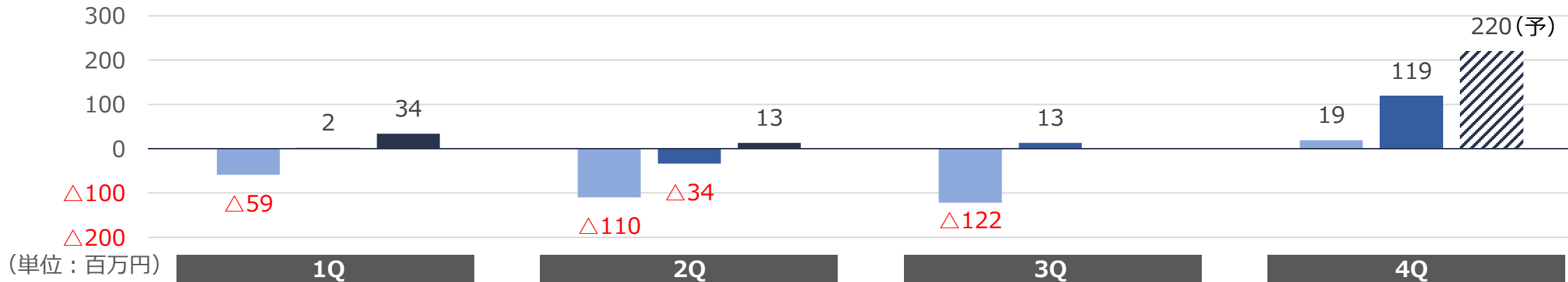
四半期業績推移 (営業利益：過去3期比較)

四半期毎の営業損益推移

■ 2022/3期 ■ 2023/3期 ■ 2024/3期



累計営業利益推移



事業領域：セグメント



セグメント別情報 売上高／セグメント利益



単位：百万円		2024/3期 2Q		2023/3期 2Q		前年同期比較	
		売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
イメージング&プリンタコントローラ	売上高	116	36.6%	151	56.9%	△35	△23.2%
	セグメント利益	34	—	62	—	△28	△45.7%
セキュリティ	売上高	180	56.5%	108	40.8%	+71	+65.6%
	セグメント利益	52	—	△12	—	+64	—
ストレージソリューション	売上高	21	6.9%	5	2.2%	+16	+282.8%
	セグメント利益	△5	—	△25	—	+19	—
ビジネスソリューション	売上高	0	0.0%	0	0.1%	△0	△58.9%
	セグメント利益	0	—	0	—	△0	△76.2%

貸借対照表



2023年3月末

2023年9月末

主な増減要因

資産 負債・純資産

資産 負債・純資産

資産の部

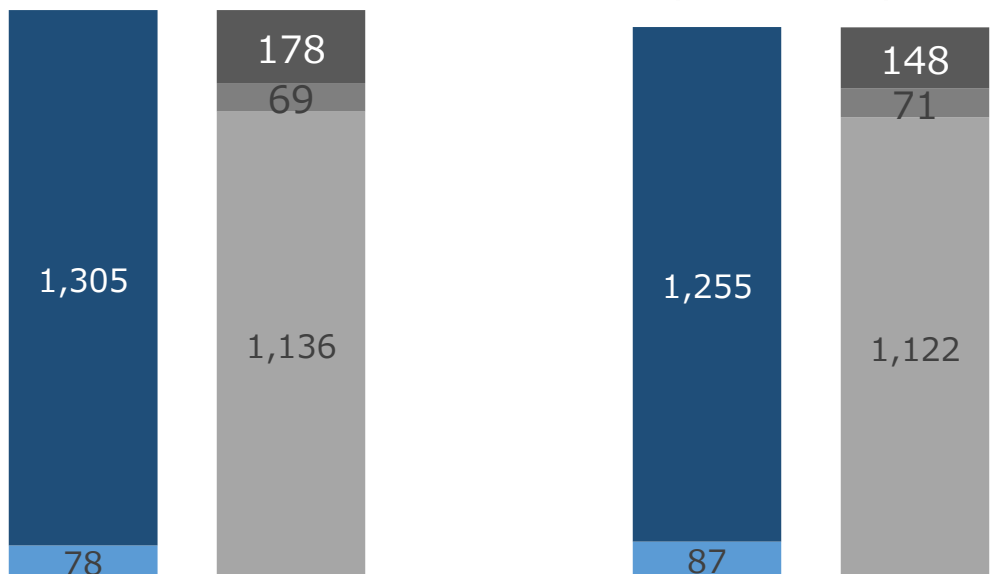
1,384

1,384

1,342

1,342

現金及び預金：105百万円増加
電子記録債権：65百万円増加
売掛金及び契約資産：231百万円減少
保険積立金：4百万円増加
有形固定資産：2百万円増加



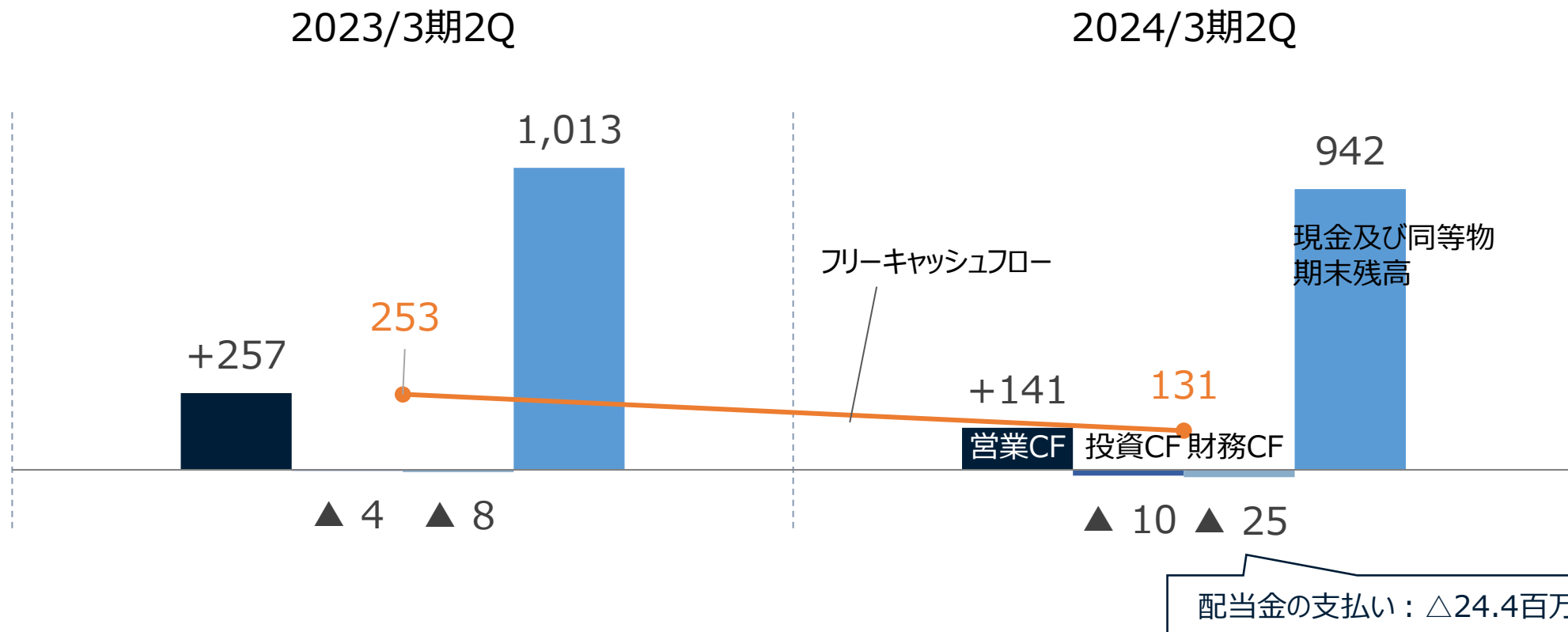
負債・純資産の部

買掛金：10百万円増加
契約負債：9百万円増加
未払法人税等：30百万円減少
未払消費税等：15百万円減少
繰延税金負債：1百万円増加
利益剰余金：14百万円減少（配当金の支払：24百万円）

■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債 ■ 固定資産 ■ 流動資産

単位：百万円

キャッシュ・フロー計算書



イメージング & プリンタコントローラ事業

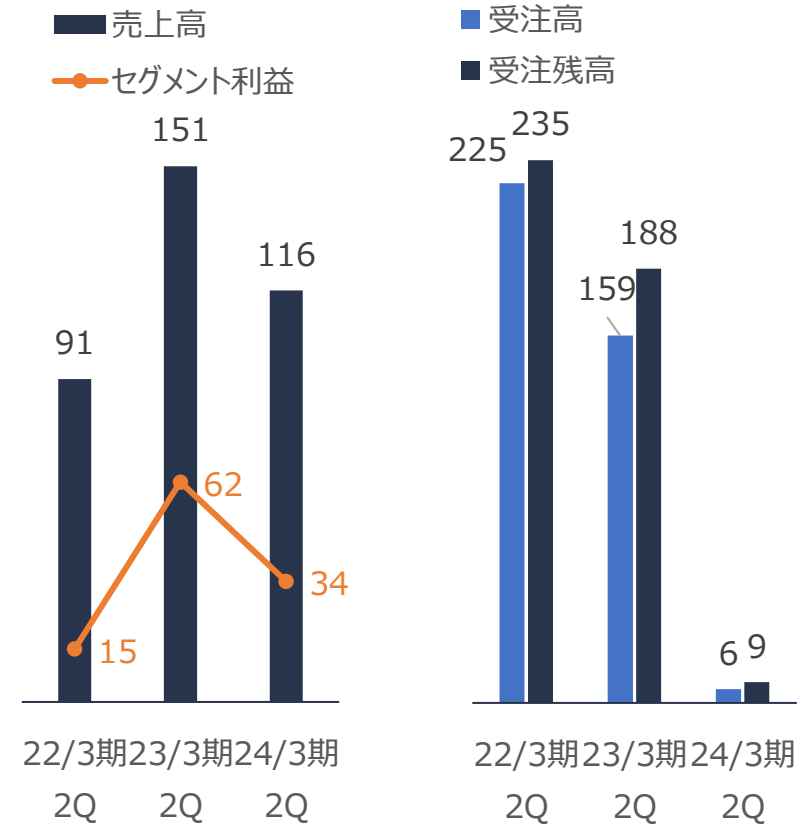


主要顧客からの高額案件の納品順調。 引き続き機能開発に注力。

ニューノーマルの生活様式が浸透する中でパッケージデザイン等における多様性、短納期のニーズが拡大。高機能なインクジェットプリンタコントローラへの期待が高まっている状況に変化無し。
コロナ禍でストップしていた主要顧客のプロジェクトが始動。
継続受注に向け機能開発に注力。

セグメント別業績推移

単位：百万円





情報・映像ともに好調。

【情報】

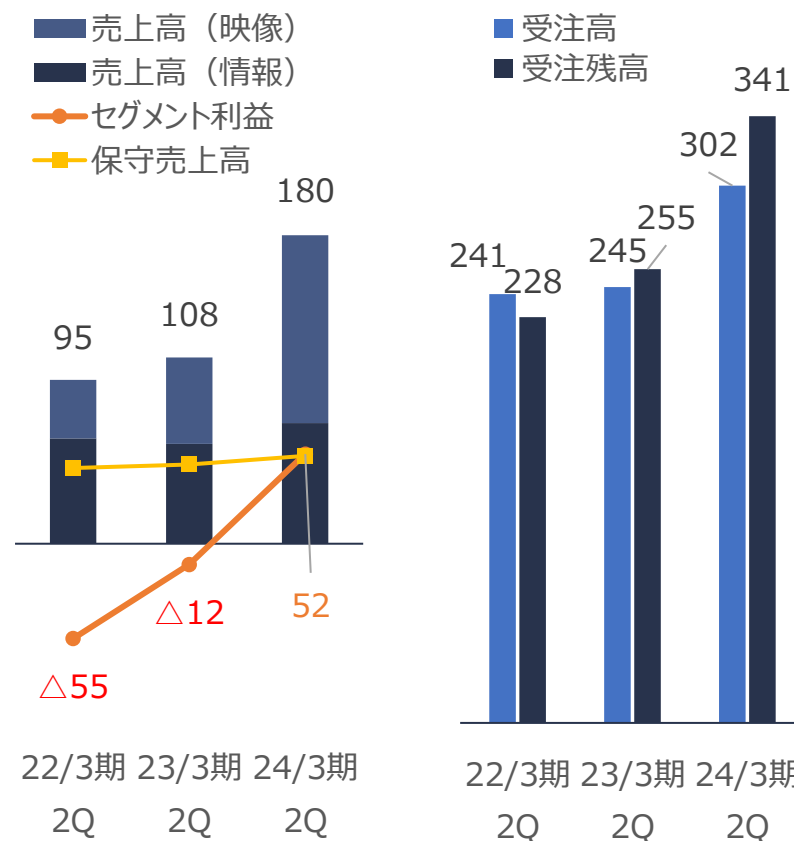
主力製品SPSEが前期総務省に採用されたことをきっかけに、自治体からの引合い増加。大手印刷機会社とタッグを組み営業強化。鹿児島県庁など全16自治体に納入。一般事業所への販促拡大準備中。

【映像】

- 映像統合監視ソフトウェア（FIRE DIPPER）の用途が多様化。
- サブスク型で提供を開始した「空港向け入場人数カウントシステム」が安定的に売上に寄与。
- 映像のAI解析機能の研究開発に注力。
- 原子力発電所などプラント監視案件も引合い増加。
- 「医学部向けOSCE試験対策用システム（FiRE DIPPER For OSCE）」は全国の国公立大学、私立大学からの引合いが増加。
 納入済み：8校
 国立C大学、国立H大学、国立K大学、国立T大学、公立N大学、公立S大学、私立K大学、私立T大学

セグメント別業績推移

単位：百万円



ストレージソリューション事業



LTOテープを利用したソリューションは好感触。大手製造業から受注獲得。

脱炭素社会の動きの一環から、省電力の観点からも、ビッグデータ保存用途として、医療現場、医療研究機関等からの引合いは増加。

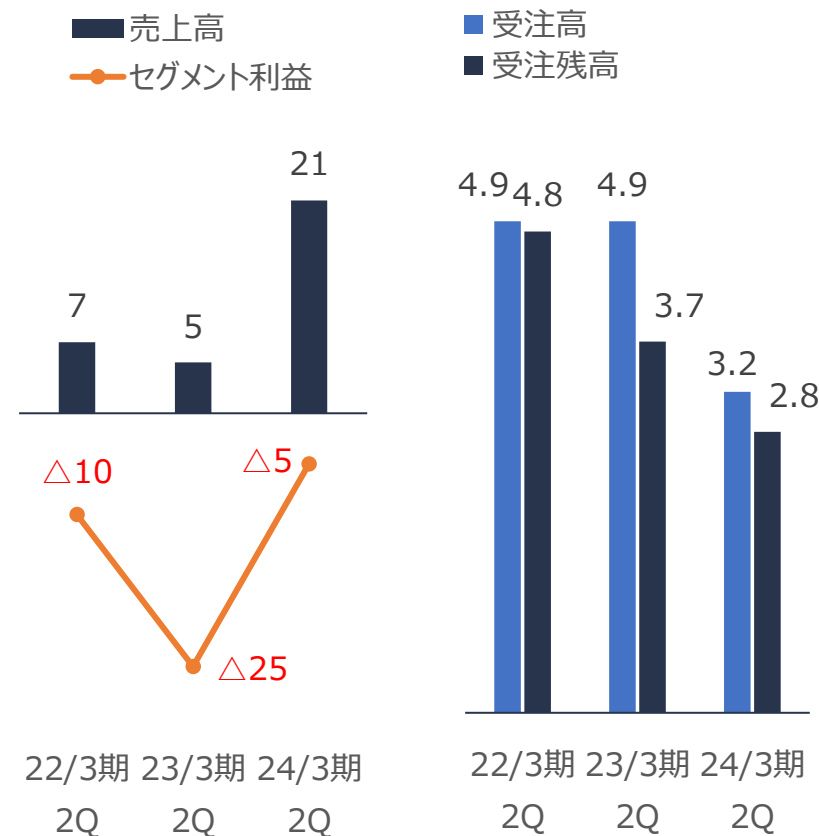
顧客ニーズに合うソリューションの提供により黒字化を目指し営業展開。

LTO (Linear Tape-Open) の特長

- **長期間のデータ保存が可能**：磁気テープは30年を超える期待寿命を持ち、長期間のデータ保存に向く。
- **データ転送速度**：最新世代であるLTO-9の伝送速度は、非圧縮時において400MB/s、圧縮時で900MB/s。HDD=150MB/s程度、SATA接続のSSD=500MB/s程度
- **低コスト・省エネルギー**：HDDなどと比較するとデータの保管可能容量が大きいことに加え、メディアそのものの価格も安価。使用時に通電の必要がないため、消費電力も小さい。

セグメント別業績推移

単位：百万円



2024年3月期通期業績予想と3Q以降の取り組み



- 今後の成長が期待できる事業分野にリソースをシフトし、来期更に飛躍するための足場づくり。
- 顧客ニーズを先取りし各製品の機能強化に向けた開発（AIの活用等）にも引き続き注力。

	2024/3期 予想	2023/3期 実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	950	762	+188	+24.6%
営業利益	220	119	+101	+84.6%
経常利益	220	122	+98	+79.6%
当期純利益	130	86	+44	+50.2%

中期成長イメージ



少数精鋭

Only Oneの技術

セキュリティ 情報

セキュリティ 映像

ストレージソリューション

イメージング&プリンタコントローラ

ビジネスソリューション



<https://www.ntl.co.jp/>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。